



## 北極圏の四季や生活にふれられる 海のアルプス・ロフォーテン諸島の素朴な村

レイネはノルウェーの北極圏に位置する、ロフォーテン諸島西端部の小村。四季折々、いつ訪れても人を魅了する景観はノルウェーで最も美しい村と讃えられ、日本旅行業協会(JATA)の「ヨーロッパの美しい村30選」にも名を連ねています。



季節や時間を問わず、フォトジェニックな魅力を湛えるレイネ。映画「アナと雪の女王」の舞台のモデルとも



アルプスの山頂を切り取ったような景観



タラ料理。タラの舌は貝柱のような味わいで、春先だけの珍味



現地言葉で「山猫の足跡」を意味するロフォーテン諸島

### 通年で楽しめる景観

ロフォーテン諸島は氷雪が削った、アルプスの山頂が海に突き出すような景観が魅力。これを巡る沿岸急行船や、島々をつなぐヨーロッパ道10号線のドライブは、この地域の主要な観光素材です。

レイネはこうした諸島の西端、モスケネス島にある人口130人ほどの漁村。大きく弧を描いた入り江沿いに赤銅色の家々が立ち並び美しい景観は絵になり、近年人気が高まっています。またこの海域一帯は古来より北極海から産卵のために移動してくるタラ漁が盛ん。ハンザ同盟の交易が活発であった中世、タラは干しダラに加工され、ドイツ方面のハンザ都市へと運ばれていったのです。レイネでも春になるとタラを干す光景が見られます。

秋の黄葉、瑞々しい夏の緑、冬は雪景色にオーロラと、いつ訪れても様々な景観が楽しめます。



ロルブーは宿泊施設としても利用されています



春は干しダラがずらりと並びます



天候次第ではオーロラを眺めるチャンスも

### ロルブーの宿泊体験も

小村のレイネに規模の大きい高層ホテルなどはないため、「グループの場合、宿泊施設の整ったレクネスやスヴォルヴァーを拠点としてレイネを訪れるのが現実的。いずれもレクネスとは60キロほどの距離なので、変化にとんだ景観を眺めながらのドライブが楽しめる」とフィンコーポレーション取締役、営業本部長の菅原洋明氏。

少人数であれば、ロルブーと呼ばれる漁師小屋を改装した宿泊施設での体験もユニークです。「付属のレストランでは新鮮な地元食材の料理が味わえ、おすすめ。夏は人気で込み合うが、干しダラの春やオーロラの冬もいい。四季折々の魅力を取り入れては」と菅原氏は話します。